11/15(日) 投票日

みんなでつくろう!
動き彩るまち、小金井。

市長候補

白井とおる

無所属



市議8年
市長4年

防災・まちづくりの拠点

新庁舎建設等の早期実現へ

- ○子育て・教育の充実
- ○健康で暮らせるまち
- ○防災&防犯、市民協働

実績を活かし
2期目へ挑戦!

挑戦は、止めない。

子育て中
51歳

実績はこちらから

shiraisupporters@gmail.com

白井とおる 検索

市政の重要課題への考え方

市役所新庁舎等の見直しを進め、早期実現をめざす!

新庁舎及び(仮称)新福祉会館は、規模・機能・手法等の見直しに向け検討をはじめており、防災・まちづくりの重要拠点を早期に実現できるよう取り組みます

物価高騰から暮らしと仕事を守る!

国や都とも連携し、家計への負担軽減と事業者の事業継続支援を実施

- ●子どもと若者の未来をひらくまち
- ●健康でつながって暮らせるまち
- ●安心して暮らせるまち
- ●人と人がつながり、新しいことが生まれるまち
- ●ちがいを力に換えるインクルーシブなまち
- ●豊かな自然を、未来へつなぐまち
- ●変革を続ける市役所。人材育成の強化、外部人材・DX&AI徹底活用、稼ぐ自治体へ



［頒布責任者］水谷多加子　小金井市東町 4－30－13　［印刷者］株式会社プリントパック　京都府向日市森本町野田 3-1

市政は前へ前へ進んできた!

白井とおるが4年間取り組んできた成果・実績（抜粋）

災害用トイレトラック導入

災害発生時に課題となる衛生環境改善のため、トイレカー（トラック）導入が決まりました。来年春頃に納車予定。
資金調達のため、現在クラウドファンディングを実施しています。



※写真は小平市のもの（昨年の北多摩地区消防大会にて）

防災担当部署、体制強化

4月から、防災安全担当部長という部長職を配置し、また東京消防庁から1名職員を派遣いただき、実質2名増員体制となりました。



CoCoバス、2路線廃止危機回避への取組み

2年前、運行事業者のドライバー不足による、CoCoバス5路線中「2路線」の運行停止の申し入れがありました。検討と協議を続け、東町循環をミニに変更し、北東部循環のルート等再編することで、路線維持に向け「交通ネットワーク再編（案）」策定に取り組んでいます。

武蔵小金井駅北口東地区再開発、始動



武蔵小金井北口が生まれ変わります。完成が待ち遠しい!

市民の安心安全へ防犯機器設置補助

匿名・流動型犯罪グループ（トクリュウ）による強盗や計画が報じられています。市では昨年度から防犯機器の設置補助事業を行なっています。



粗大ごみオンライン申込開始

今年2月下旬から、24時間オンラインから粗大ごみ収集の申し込みが可能に!





清掃関連施設にネーミングライツ導入

昨年3月に稼働したプラごみ・缶・ビン等の中間処理施設を「メタウォーターサステナブルパークこがねい」と命名権を導入、年間500万円の収入に。



市報こがねい誌面リニューアル

その他にも、広報改革として公式LINEアカウントの開設・運用、市公式ホームページのリニューアルを実現!

外部連携を強化しました

教育機関や民間企業・NPO団体等、各種連携協定を締結し、市民の皆様へ還元できる取り組みを進めています

- 辻調理学館（辻調理師専門学校 東京）
- 東京フットボールクラブ株式会社（FC東京）
- 日本郵便株式会社
- 学校法人日本リハビリテーション学舎（専門学校社会医学技術学院）
- 一般社団法人日本シングルマザー支援協会
- NPO法人自殺対策支援センター
- 明治安田生命保険相互会社
- 長久手市、桜川市　など

産後ケア事業の大幅拡充!

「宿泊型」&「日帰り型」施設の充実及び「訪問型」の新規実施。大人気の利用者ニーズに応える

［その他実績］

○物価高騰対策として、全市民5,000円給付やキャッシュレスポイント還元キャンペーンの実施等　○母子保健アプリ導入　○子どもの権利の日を制定　○小中学校給食無償化　○読み書き困難の支援　○学校トイレ洋便器化80％を前倒しで達成　○子どもの多様な学びとして全小中学校で不登校支援の場を設置　○各種申請＆手続きのオンライン化　○インクルーシブ公園整備　○わかもの気候市民会議の開催　○女性副市長の就任（抜粋）

挑戦は、止めない。



小金井市長候補
白井とおる（現職）

PROFILE

1975年生まれ／大阪府枚方市出身／関西大学卒業／政党無所属・市議（会派：小金井をおもしろくする会）を3期途中まで務め2022年11月27日より小金井市長／日本最大の政策コンテスト・マニフェスト大賞実行委員長（2020年、2021年）／民間企業にてコミュニケーション・プランニング、企画・営業／中高生2人の子育て中／元高校球児／家事担当：朝食と長男の弁当づくり、週末の晩ごはん、洗い物全般／早朝ランニング／読書／国家資格キャリアコンサルタント／座右の銘「自ら機会を創り出し、機会によって自らを変えよ」

これまでの市政運営を振り返って

課題と向き合い続けた4年

2022年10月、前市長は市立保育園5園のうち2園を廃園する条例を、議会の議決を経ずに専決処分し、それを承認するか否かの議案が圧倒的多数で「不承認」となったことから責任を取って辞職、突然の市長選挙となりました。私が市長選に出馬を決めた当時、「よくこんな火中の栗を拾うね」と多くの方から言われました。保育園問題のほかにも、困難な課題が山積していたからです。しかし、私は市議会議員の時から、そこに課題があるのに具体的にその解消に向けたアクションに繋がらないことにジレンマを感じてきました。「自分だったらこういう風にやるのにな」とイメージしていました。とはいえ、市長になってみるとすべてが思うようにいくわけは当然ありません。ただ、私がずっと心掛けてきたことは、課題を放置せず徹底的に向き合うことと、うまくいかない事があっても悲観せず、その状況下での最適解や、できることは何かを考え行動することです。

小金井市に移り住んで19年。今から15年ほど前までは政治に無関心な市民だった私が、子育てを機に小金井市に縁ができ、約8年の市議会議員活動を経て市長となり4年が経ちました。まだまだ道半ばですが、様々な立場の市民や団体等と対話を重ね協働し、地域の皆様のご協力のおかげで、一歩一歩、市政は着実に前進していると感じています。





毎月、市民と対話。

就任した直後から、毎月「みんなのタウンミーティング」を開催（2026年8月までで通算44回）。土日の対面開催に加えて定期的に平日夜にオンラインで開催するなど、多様な立場の方が参加できるように工夫しています。

私たちも白井さんを応援しています！


小平市長
小林洋子


中野区長
酒井直人


交野市長
山本けい


品川区長
森沢恭子


立川市長
酒井大史


国立市長
濱崎真也


八幡市長
川田翔子

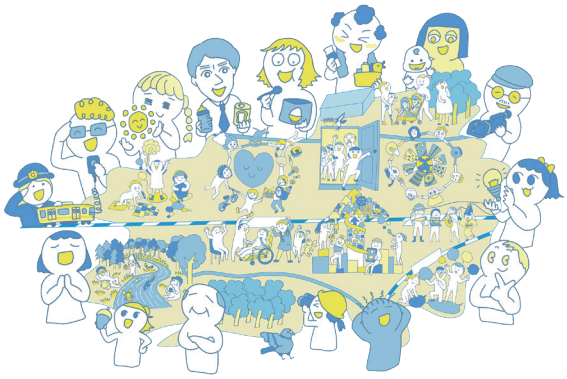

戸田市長
菅原文仁

［頒布責任者］水谷多加子　小金井市東町 4－30－13　［印刷者］株式会社プリントパック　京都府向日市森本町野田 3-1

「みんなでつくるまち」実現に向けて

取り組むこと

●市民協働支援センターの設置、市民まつりに代わるイベント開催
●「市民参加型予算」の実施を検討
●クラウドファンディングを積極的に活用する
●若者の声を市政に活かし、地域交流を促す



新しい小金井、第2章。
課題解決と未来づくりのこれからの政策案

7つの基本政策（抜粋）

01 子どもと若者の未来をひらくまち

●学童保育所の大規模化の解消●5歳児健診と妊娠からの切れ目ない支援●保育の質の維持・向上の取組み●ベビーシッター補助や小学生の朝の居場所づくりを検討●部活動の地域展開と学校トイレの改善●不登校や読み書き困難等への学びを支援●「学びの多様化学校」の設置検討●若者の居場所・自習スペースの拡充 など



02 健康でつながって暮らせるまち

●在宅医療・介護連携の充実、認知症予防●ベンチを増やし、歩いて楽しめるまちへ●CoCoバス路線維持と利用を促進●東小金井駅周辺にも公衆喫煙所を設置●多世代で共に学び交流できる、生涯教育機会の充実●スポーツと芸術文化の振興 など



03 安心して暮らせるまち

●地域防犯力を高める見守り連携強化●自主防災組織を増やし活動を支援●実践的な訓練実施と災害時のトイレ対策の充実●自転車関与の事故を減らす啓発活動の強化 など



04 人と人がつながり、新しいことが生まれるまち

●東小金井を「チャレンジを応援するまち」へ●武蔵小金井駅北口東側地区市街地再開発事業の推進●商店街活性化の取り組み支援●東小金井駅北口まちづくり事業用地の活用を再検討 など



05 ちがいを力に換えるインクルーシブなまち

●障害とは社会が作り出していることへの理解促進・就労支援の充実●みんなの公園づくりプロジェクト「play here」の推進●多文化共生に取り組む体制づくり●ペットとの共生社会に向けた取組み など



06 豊かな自然を、未来へつなぐまち

●都施行の都市計画道路3.4.11号線整備で課題となる、国分寺崖線や野川の自然環境に対する影響を可能な限り低減するよう都へ求める●都市農業を守るため、国や都との連携を強化●ごみ分別をわかりやすく。生ごみ資源化、リサイクル・リユースを推進●気候変動問題に対する「わかもの気候市民会議」の継続実施 など



07 変革を続ける市役所。人材育成の強化、外部人材・DX＆AI徹底活用、稼ぐ自治体へ

●DX・AIの徹底活用でオンライン申請をさらに拡充、市民の利便性向上●人材育成＆確保の新たな戦略の策定●補助金や独自事業の見直し●公共施設の再配置や施設の機能・あり方について具体的な検討を進める●行政財政資源の有効活用、広告収入等を増やす など

